


## ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

|   |  |
|---|--|
|  | <p>保育科 特任准教授</p> <p>初 田 宏 樹 （はつだ ひろき）</p> <p>HATSUDA Hiroki</p>  |
| 所属  | 保 育 科  |
| 学位  | 教職修士（専門職）（横浜国立大学大学院）   |
| 資格・免許   | <p>小学校教諭専修免許状（令5小専修第25号：神奈川県教育委員会）</p> <p>中学校教諭専修免許状（数学）（令5中専修第63号：神奈川県教育委員会）</p> <p>高等学校教諭専修免許状（数学）（令5高専修第93号：神奈川県教育委員会）</p>  |
| 学歴・職歴   | <p>&lt;学歴&gt;</p> <p>1995年 3月 信州大学教育学部 卒業（学士：教育学）</p> <p>2024年 3月 横浜国立大学教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）修了（教職修士（専門職））</p> <p>&lt;職歴&gt;</p> <p>1995年 4月 上松町立上松中学校 教諭（数学）（1998年3月まで）</p> <p>1998年 4月 横浜市立青葉台小学校 教諭（2003年4月まで）</p> <p>2003年 4月 横浜市立桜台小学校 教諭（2006年3月まで）</p> <p>2006年 4月 横浜市立平戸台小学校 教諭（2011年3月まで）</p> <p>2011年 4月 横浜市立市沢小学校 教諭（2018年3月まで）</p> <p>2021年 4月 横浜市立上星川小学校 教諭（2022年3月まで）</p> <p>2022年 4月 横浜国立大学教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）に内地留学（2024年3月まで）</p> <p>2024年 4月 横浜市立南瀬谷小学校 教諭（2024年8月まで）</p> <p>2024年 9月 埼玉学園大学 兼任講師（担当科目：算数、算数科教育法）</p> <p>2024年 9月 川口短期大学 兼任講師（担当科目：算数、算数科教育法）</p> |
| 担当科目  | 算数科教育法、ICT活用の理論と方法、算数科概論、算数、教職実践演習、人間と教育、算数科教育法特論  |
| 専門分野  | 教育学（数学）  |
| 現在の研究テーマ  | 子どもの数学的モデリングにおける仮定設定スキル向上の研究   |
| 競争的資金等の研究課題   | —  |
| 所属学会  | 日本数学教育学会 全国数学教育学会 日本科学教育学会   |
| メッセージ   | <p>私の専門は算数教育ですが、単に計算ができるようになることではなく、「なぜこうなるのか？」「どうすればもっと良い方法が見つかるか？」と考える力を大切にしています。保育士や幼稚園・小学校の先生を目指す皆さんが、子どもたちの「わかった！」「できた！」という瞬間を引き出せるよう、実践的な学びを一緒に深めていきましょう。</p> <p>授業では、皆さんが主体的に考え、話し合い、試行錯誤しながら学べる環境を大切にしたいと思っています。失敗を恐れず、積極的に発言し、挑戦してみてください。その経験が、将来子どもたちと関わる時の大きな力になります。</p> <p>皆さんの学びを全力でサポートします。一緒に充実した学生生活を送りましょう！よろしくお願いします。</p>  |

|  |  |   |
|--|--|---|
| 教育   |  |   |
| 2025 年 4 月～  |  |   |
| 教育方針   | 私は、学生一人ひとりが主体的に学び、将来の保育・教育現場で自信を持って活躍できる力を育成することを教育方針としています。<br>保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を目指す皆さんには、子どもたちの「学ぶ喜び」を引き出し、支える存在になってほしいと考えています。<br>そのために、理論と実践の両面を大切にし、授業では現場に直結する具体的な指導法を身につけることを重視しています。 |   |
| 研究   |  |   |
| 2024 年 4 月～2025 年 3 月  |  |   |
| タイトル（単著・共著）  | 年月日  | 発行所、発表雑誌、発表学会等                          |
| （学術論文）<br>算数科における理想化の過程に焦点を当てた学習活動を志向した教材研究－フェルミ推定の問題をたたき台として－<br>（単著） | 2024 年 10 月  | 全国数学教育学会                                |
| （学術論文）<br>算数科における「ゆさぶり発問」についての考察－教科書の文章題を活用して－<br>（単著）                 | 2024 年 7 月   | 全国数学教育学会                                |
| （学術論文）<br>算数教科書の文章題を用いた再教材化に関する研究－植木算の実践を通して－<br>（単著）                  | 2024 年 6 月   | 横浜国立大学教育デザイン                            |
| 2024 年 3 月以前（主なもの）   |  |   |
| タイトル（単著・共著）  | 年月日  | 発行所、発表雑誌、発表学会等                          |
| （著 書）<br>『算数おもしろ問題 100』<br>（全 105 頁）<br>（共著）                           | 2023 年 3 月   | 東洋館出版社<br>・担当部分：問題 9、11、12、17、23、43     |
| （著 書）<br>『ゲームと生きる！③ ゲームとのスゴイ未来』<br>（共著）                                | 2022 年 3 月   | フレーベル館<br>・担当部分：p. 6（共同執筆につき本人担当部分抽出困難） |
| （著 書）<br>『中学生から楽しめる数学への扉』（算数卒業旅行 3 目指せ算数クイズ王）<br>（共著）                  | 2019 年 11 月  | 汐文社<br>・担当部分：p. 12、13、30、31             |

| 研究（つづき）  |             |   |
|--|-------------|---|
| 2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）  |             |   |
| タイトル（単著・共著）  | 年月日         | 発行所、発表雑誌、発表学会等  |
| （学術論文）<br>総合的・発展的に学習していく力を育成するための研究－第 5 学年の面積の指導を通して－<br>（単著）（査読付）               | 2021 年 3 月  | 新しい算数研究No.602<br>（2021 年 3 月号、p. 46）<br>（東洋館出版社）<br>（新算研教育研究賞優秀賞受賞） |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 3 年「わり算」<br>（単独）   | 2022 年 12 月 | 新しい算数研究No.623<br>（2022 年 12 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 52-54                |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 「速さ」<br>（単独）   | 2022 年 10 月 | 新しい算数研究No.623<br>（2022 年 10 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 66-68                |
| （その他：事例研究）<br>深い学びを育てるおもしろ問題 統合的な見方から深い学びへ<br>（単独）                               | 2022 年 9 月  | 新しい算数研究No.620<br>（2022 年 9 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 44-45                 |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 4 年「平行と垂直」<br>（単独）   | 2022 年 8 月  | 新しい算数研究No.619<br>（2022 年 8 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 60-62                 |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 4 年「分数」<br>（単独）  | 2022 年 4 月  | 新しい算数研究No.615<br>（2022 年 4 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 46-48                 |
| （その他：事例研究）<br>教科書アレンジで思考力・判断力・表現力を育てる<br>（単独）                                    | 2022 年 2 月  | 授業力&学級経営力（2022 年 2 月号）<br>（明治出版）<br>pp. 124-127                     |
| （その他：事例研究）<br>自ら問題発見、問題追及していく力を育成するための研究－導入の問題づくりから ICT を使った発展学習まで－<br>（単独）（査読付） | 2021 年 10 月 | 令和 3 年度日本教育振興会教育賞   |

| 研究（つづき）  |             |  |
|--|-------------|--|
| 2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）  |             |  |
| タイトル（単著・共著）  | 年月日         | 発行所、発表雑誌、発表学会等                                       |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 1 年「たし算とひき算」<br>（単独）   | 2021 年 7 月  | 新しい算数研究No.606<br>（2021 年 7 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 46-48  |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 6 年「並び方と組み合わせ方」<br>（単独）                                      | 2021 年 6 月  | 新しい算数研究No.605<br>（2021 年 6 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 66-68  |
| （その他：事例研究）<br>算数好きを育てる「？（はてな）」から「！<br>（なるほど）」と子どもが思える授業を目指<br>して<br>（単独）         | 2020 年 12 月 | 新しい算数研究No.599<br>（2020 年 12 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 30-32 |
| （その他：事例研究）<br>深い学びを育てるおもしろ問題「？（はて<br>な）」から「！（なるほど）」へ考えたいくなる<br>分数のおもしろ問題<br>（単独） | 2020 年 7 月  | 新しい算数研究No.594<br>（2020 年 7 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 38-39  |
| （その他：事例研究）<br>今月の指導 3 年「重さ」<br>（単独）  | 2020 年 2 月  | 新しい算数研究No.589<br>（2020 年 2 月号）（東洋館出版社）<br>pp. 46-48  |
| （その他：学会発表）<br>数学化を促進するための教科書活用に関す<br>る研究<br>（単独）                                 | 2024 年 8 月  | 第 106 回全国算数・数学教育研究（大<br>阪）大会                         |
| （その他：学会発表）<br>算数教科書の活用問題を用いた数学化を促<br>進する問題作成に関する研究<br>（単独）                       | 2024 年 6 月  | 全国数学教育学会 第 60 回研究発表<br>会（於：奈良教育大学）                   |
| （その他：学会発表）<br>日常的な体験と抽象的な学びをつなぐゆさ<br>ぶり発問の効用－教科書の文章題を活用し<br>て－<br>（単独）           | 2023 年 12 月 | 全国数学教育学会 第 59 回研究発表<br>会（於：福岡教育大学）                   |

| 研究（つづき）  |             |   |
|--|-------------|---|
| 2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）  |             |   |
| タイトル（単著・共著）  | 年月日         | 発行所、発表雑誌、発表学会等                            |
| （その他：学会発表）<br>速さの学習を通して自ら情報を抜き出し問題解決をするには<br>（単独）  | 2022 年 10 月 | 第 77 回関東甲信静数学教育研究大会<br>要項（日本数学教育学会：オンライン） |
| （その他：学会発表）<br>HOW TO USE ELEMENTARY MATH TEXTBOOKS<br>TO PROMOTE MATHEMATIZATION<br>（数学化を促進するための小学校算数教科書の活用の仕方）<br>（単独）  | 2023 年 9 月  | ICTMA-21（於：淡路夢舞台国際会議場）                    |
| （その他：学会発表）<br>数学化を促進する教材作成<br>（単独）   | 2022 年 12 月 | 全国数学教育学会 第 57 回研究発表会（於：早稲田大学）             |
| 社会貢献<br>産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等  |             |   |
| 2024 年 4 月～2025 年 3 月  |             |   |
| —  |             |   |
| 2024 年 3 月以前（主なもの）   |             |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 志算研授業研究会講演会（ワークショップ）（筑波大学附属小学校）（2023 年 9 月）<br/>講演テーマ：算数好きを増やすための環境づくり</li> <li>・ ガウスの会授業研究会講演会（ワークショップ）（横浜国立大学附属小学校）（2023 年 6 月）<br/>講演テーマ：数学化を促進するための教科書の活用の仕方</li> <li>・ 横浜市保土ヶ谷区算数研究会講演（於：横浜市立帷子小学校）<br/>講演テーマ：全員参加の授業を目指して</li> <li>・ 横浜市保土ヶ谷区算数研究会講演（於：横浜市立帷子小学校）<br/>講演テーマ：算数教科書の分析について</li> </ul> |             |   |
| 受賞 ※個人、所属団体  |             |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度東京理科大学「算数・数学の達人」 最優秀賞（2021 年 12 月）</li> <li>・ 新算研教育研究賞 優秀賞（2021 年 1 月）</li> </ul>  |             |   |